

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年1月15日
【四半期会計期間】	第24期第3四半期（自平成24年9月1日至平成24年11月30日）
【会社名】	株式会社エスケイジャパン
【英訳名】	SK JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 敏志
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【縦覧に供する場所】	株式会社エスケイジャパン東京営業所 （東京都台東区寿三丁目14番13号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）1．上記の東京営業所は、未登記につき法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

2．平成24年6月4日から縦覧に供する場所である株式会社エスケイジャパン東京営業所（旧住所：東京都台東区蔵前四丁目33番7号）が上記のとおり移転しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第3四半期連結 累計期間	第24期 第3四半期連結 累計期間	第23期
会計期間	自平成23年 3月1日 至平成23年 11月30日	自平成24年 3月1日 至平成24年 11月30日	自平成23年 3月1日 至平成24年 2月29日
売上高(千円)	6,579,284	6,242,495	8,825,224
経常利益(千円)	189,716	138,013	234,425
四半期(当期)純利益(千円)	132,674	73,982	165,267
四半期包括利益又は包括利益(千円)	128,805	72,313	163,931
純資産額(千円)	1,952,469	1,967,789	1,986,071
総資産額(千円)	4,036,737	3,986,510	3,269,339
1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	16.13	8.99	20.09
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	47.9	48.7	60.2

回次	第23期 第3四半期連結 会計期間	第24期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 9月1日 至平成23年 11月30日	自平成24年 9月1日 至平成24年 11月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	9.99	0.55

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第23期第3四半期連結累計期間、第24期第3四半期連結累計期間及び第23期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第23期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定に当たり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
5. 第24期第1四半期連結会計期間より潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額の算定に当たり、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。
当該会計方針の変更は遡及適用され、第23期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額について遡及処理を行っております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,242百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は138百万円（前年同期比29.3%減）、経常利益は138百万円（前年同期比27.3%減）、四半期純利益は73百万円（前年同期比44.2%減）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、多店舗展開するオペレーターを中心に、顧客ごとのニーズに即した商品を提案することによってシェアの拡大を図りました。商品では、「AKB48」「モケケ」「Moja!」等のキャラクターの売上が好調に推移しましたが、前年同期に人気であった「Baby COCO」や「すーぱーそに子」等の反動により、売上高は2,862百万円とほぼ前年同期の水準となりました。

SP（セールスプロモーション）部門におきましては、出版会社をはじめとして、外食・食品・製薬等、様々な業界からの受注を獲得できましたが、前年同期のような大型案件がとれず、売上高は562百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

EC（イーコマース）部門におきましては、自社オリジナルキャラクターである「でぶねこ」を中心に、他社と差別化できる商品の開発にシフトしました。また、自社サイトに特化集中するために1サイトを閉鎖した結果、売上高は30百万円（前年同期比55.3%減）となりましたが、自社サイトへの集客及び売上が改善されつつあります。

以上の結果、売上高は3,456百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は57百万円（前年同期比290.2%増）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、大手コンビニエンスストア、家電量販店及びカード専門ショップに対する「AKB48」関連グッズの売上や、新たなヒットキャラクターが好調でありましたが、昨年まで大ヒットを記録した人気キャラクターの落ち込みが大きく影響いたしました。

以上の結果、売上高は2,180百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は109百万円（前年同期比42.4%減）となりました。

<リテイル事業>

当事業を運営している株式会社ナカヌキヤは、平成25年2月末をもって清算することが決定しており、それに伴って商品の仕入を制限したため、「ナカヌキヤ」3店舗におきましては前年同期の売上高を下回る結果となりました。

「SALAD BOWL」3店舗におきましても、上述のとおり、事業清算を見据えた店舗運営を行った結果、総じて厳しい状況となりました。

以上の結果、売上高は605百万円（前年同期比5.1%減）、営業損失は45百万円（前年同期は18百万円の営業損失）となりました。

(2)財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ717百万円増加し、3,986百万円となりました。これは主に、東京新ビルの取得による土地の増加額273百万円、受取手形及び売掛金の増加額218百万円、商品の増加額134百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ735百万円増加し、2,018百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額303百万円、短期借入金の増加額300百万円、賞与引当金の増加額46百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、1,967百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少額24百万円によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

(5)主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設について、当第3四半期連結累計期間に完成したものは、次のとおりであります。

会社名 事業所名	セグメントの名称	設備の内容	完成年月
当社 東京営業所	キャラクターエンタ テインメント事業	土地 建物	平成24年5月

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,381,000
計	12,381,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年1月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,359,103	8,359,103	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	8,359,103	8,359,103	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年1月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年9月1日 ~ 平成24年11月30日	-	8,359,103	-	440,948	-	471,887

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年11月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 133,800	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,177,300	81,773	-
単元未満株式	普通株式 48,003	-	-
発行済株式総数	8,359,103	-	-
総株主の議決権	-	81,773	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が900株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権に係る議決権の数9個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町一丁目4番8号	133,800	-	133,800	1.60
計	-	133,800	-	133,800	1.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	775,960	778,762
受取手形及び売掛金	998,980	1,217,668
商品	339,147	473,261
未収還付法人税等	-	23,025
繰延税金資産	20,606	13,994
その他	82,959	80,273
貸倒引当金	5,134	7,507
流動資産合計	2,212,520	2,579,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	424,036	528,521
減価償却累計額	162,244	173,121
建物及び構築物(純額)	261,792	355,400
車両運搬具	11,823	12,929
減価償却累計額	7,270	9,287
車両運搬具(純額)	4,552	3,642
その他	65,639	85,323
減価償却累計額	57,076	64,313
その他(純額)	8,562	21,009
土地	266,356	539,494
建設仮勘定	84,400	-
有形固定資産合計	625,663	919,546
無形固定資産	16,472	76,581
投資その他の資産		
投資有価証券	51,998	46,315
繰延税金資産	5,741	5,832
その他	372,940	369,087
貸倒引当金	15,997	10,332
投資その他の資産合計	414,682	410,903
固定資産合計	1,056,819	1,407,031
資産合計	3,269,339	3,986,510

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	537,731	840,831
短期借入金	350,000	650,000
未払法人税等	35,410	32,324
賞与引当金	37,482	83,664
資産除去債務	-	32,081
その他	176,273	243,950
流動負債合計	1,136,897	1,882,853
固定負債		
繰延税金負債	692	117
役員退職慰労引当金	132,119	135,419
資産除去債務	10,085	-
その他	3,472	330
固定負債合計	146,370	135,867
負債合計	1,283,268	2,018,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,105,241	1,080,520
自己株式	51,200	51,203
株主資本合計	1,966,877	1,942,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,597	872
繰延ヘッジ損益	228	208
為替換算調整勘定	2,238	2,162
その他の包括利益累計額合計	587	1,081
新株予約権	18,606	26,718
純資産合計	1,986,071	1,967,789
負債純資産合計	3,269,339	3,986,510

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	6,579,284	6,242,495
売上原価	4,788,086	4,471,279
売上総利益	1,791,197	1,771,216
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	585,453	582,748
賞与引当金繰入額	82,930	83,664
退職給付費用	20,640	17,422
役員退職慰労引当金繰入額	5,442	5,385
その他	901,387	943,917
販売費及び一般管理費合計	1,595,854	1,633,138
営業利益	195,343	138,077
営業外収益		
受取利息	159	237
受取配当金	1,538	1,680
その他	6,137	13,667
営業外収益合計	7,835	15,586
営業外費用		
支払利息	2,978	4,457
投資有価証券評価損	2,210	2,978
その他	8,273	8,213
営業外費用合計	13,462	15,650
経常利益	189,716	138,013
特別利益		
投資有価証券売却益	-	47,659
その他	3,760	192
特別利益合計	3,760	47,851
特別損失		
減損損失	-	¹ 29,427
特別退職金	-	² 37,201
その他	6,221	-
特別損失合計	6,221	66,629
税金等調整前四半期純利益	187,256	119,236
法人税、住民税及び事業税	62,018	39,055
法人税等調整額	7,437	6,198
法人税等合計	54,581	45,253
少数株主損益調整前四半期純利益	132,674	73,982
四半期純利益	132,674	73,982

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132,674	73,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,589	1,724
繰延ヘッジ損益	270	20
為替換算調整勘定	550	75
その他の包括利益合計	3,869	1,669
四半期包括利益	128,805	72,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,805	72,313
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)																								
	1 減損損失 当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。 (1) 減損損失を計上した資産グループの概要 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">用途及び場所</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>店舗 大阪市中央区</td> <td>建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">27,335千円</td> </tr> <tr> <td>広島市中区</td> <td>工具、器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">801千円</td> </tr> <tr> <td>広島市南区</td> <td>[有形固定資産 (その他)]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広島県呉市</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>愛媛県松山市</td> <td>長期前払費用</td> <td style="text-align: right;">1,291千円</td> </tr> <tr> <td>兵庫県尼崎市</td> <td>[投資その他の資産 (その他)]</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">29,427千円</td> </tr> </tbody> </table> (2) 減損損失の計上に至った経緯 収益性が低下し、事業整理の方針となったリテイル事業に係る店舗資産について、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。 なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローが見込めないため、零としております。 (3) 資産のグルーピングの方法 キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、キャラクターエンタテインメント事業及びキャラクター・ファンシー事業については事業全体を、リテイル事業については店舗をそれぞれ基本単位としており、遊休資産については個々の物件ごとに、減損損失の認識の判定及び測定を行っております。	用途及び場所	種類	金額	店舗 大阪市中央区	建物及び構築物	27,335千円	広島市中区	工具、器具及び備品	801千円	広島市南区	[有形固定資産 (その他)]		広島県呉市			愛媛県松山市	長期前払費用	1,291千円	兵庫県尼崎市	[投資その他の資産 (その他)]		合 計		29,427千円
用途及び場所	種類	金額																							
店舗 大阪市中央区	建物及び構築物	27,335千円																							
広島市中区	工具、器具及び備品	801千円																							
広島市南区	[有形固定資産 (その他)]																								
広島県呉市																									
愛媛県松山市	長期前払費用	1,291千円																							
兵庫県尼崎市	[投資その他の資産 (その他)]																								
合 計		29,427千円																							
	2 特別退職金 特別退職金は、リテイル事業の整理に伴う早期退職制度実施による特別割増退職金であります。																								

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
減価償却費	21,099千円	23,343千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月28日 定時株主総会	普通株式	49,351	6	平成23年2月28日	平成23年5月30日	利益剰余金
平成23年10月12日 取締役会	普通株式	49,351	6	平成23年8月31日	平成23年11月18日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月19日 定時株主総会	普通株式	49,351	6	平成24年2月29日	平成24年5月21日	利益剰余金
平成24年10月12日 取締役会	普通株式	49,351	6	平成24年8月31日	平成24年11月16日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,688,495	2,252,721	638,067	6,579,284	-	6,579,284
セグメント間の 内部売上高又は振替高	20,517	176,483	-	197,000	(197,000)	-
計	3,709,013	2,429,205	638,067	6,776,285	(197,000)	6,579,284
セグメント利益 又は損失()	14,743	190,401	18,646	186,498	8,844	195,343

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額8,844千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,456,003	2,180,988	605,504	6,242,495	-	6,242,495
セグメント間の 内部売上高又は振替高	317,396	221,632	-	539,028	(539,028)	-
計	3,773,399	2,402,621	605,504	6,781,524	(539,028)	6,242,495
セグメント利益 又は損失()	57,522	109,720	45,305	121,937	16,140	138,077

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額16,140千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円13銭	8円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	132,674	73,982
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	132,674	73,982
普通株式の期中平均株式数(株)	8,225,300	8,225,249
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に当たり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年10月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・49,351千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・6円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成24年11月16日

(注) 平成24年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 1月10日

株式会社エスケイジャパン
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 紳太郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松嶋 康介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスケイジャパンの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスケイジャパン及び連結子会社の平成24年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。